

「白岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）」に対する意見と回答

白岡市総合政策部企画政策課

意見の内容	意見に対する市の考え方
<p>①産業経済対策（農業＝国の政策をなぞって失敗、国がこけて以来崩壊・商業＝全く取り組まないののでノウハウゼロ・工業＝なし）をやっていない市の伝統から記述は信用できない。</p> <p>②のりあい交通は市民の足を保証するシステムではない。</p> <p>③市民協働に納得できる指標がない。</p>	<p>→総合戦略では、「コラボレーション 手をつなぎ協働と連携の地域づくり」をメインテーマとしており、今後は、市全体で産官学の連携を積極的に図っていくこととしています。</p> <p>特に、めまぐるしく状況が変化する産業分野では、様々な機関との連携を図り、それらの知見やノウハウを活かし、より良い成果が得られるようまちづくりを進めます。</p> <p>→市では、駅やバス停から離れている地域にお住まいの方、また、高齢の方や小さいお子さんをお持ちの方など、交通弱者といわれる市民の方の利便性を向上させるため、のりあい交通を運行しています。</p> <p>今後は、鉄道、バス、タクシー等の公共交通との連携や情報交換を積極的に行い、市内の交通利便性の向上に努めます。</p> <p>→市民協働は、地域が抱える課題の解決やより良いまちづくりなど、市民の方と行政が共通の目標に向かって活動することです。</p> <p>そのため、「市民の方と市と一緒に進めている事業数」、「参画と協働のまちづくりを推進するために市の公募に応じた市民の人数」、「市民の方が企画・実施する協働事業に対して市から補助金を交付した事業数」の3つを市民協働の進捗を図る指標として設定しました。</p>